

<論文・論作文・作文>

試験区分	ページ
大学卒、高専・短大卒	1
高校卒	2
就職氷河期世代対象	3
障がい者対象(大学卒)	4
障がい者対象(高専・短大、高校卒)	5
育児休業代替任期付職員・会計年度任用職員(特定事務)	6

＜大学卒、高専・短大卒＞

生物多様性は、人間社会の持続可能性の維持に欠かせないものですが、人々の経済活動による開発に伴う植物の伐採や、気候変動、外来種の侵入等で生態系バランスが壊れ、本来の豊かさが失われてしまう例も少なくありません。このうち、外来種（外来生物）の問題について、あなたの考えを述べてください。

<高校卒>

市役所の仕事のほとんどは、一人で課題に取り組むものではなく、チームで協力して課題に取り組み、解決していく仕事です。チームで仕事をするにあたって必要なものがなにか、またあなたの考えとは対立する意見が出た場合には、どのように振る舞うべきか、その行動や心掛けについて、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを具体的に述べなさい。

<就職氷河期世代対象>

神戸のような成熟都市では、これまで市民、民間企業、行政が作り上げてきたものが必然的に古くなり、老朽化していきます。たとえば、昭和30年代以降の人口増加に対応するため整備された計画的開発団地は、まちびらきのタイミングで同じ世代が一斉に入居したことから、入居世代が偏っており、人口減少・高齢化が進行することで、空き家・空き地の増加、生活利便施設の撤退、施設の老朽化など、さまざまなオールドタウン化の問題が顕在化しつつあります。

そこで、このような住宅団地を再生し良好な住環境を維持するため、また、都市の高質化のために、どのような施策を行っていくべきかについて、あなたの考えを述べてください。

<障がい者対象（大学卒）>

神戸市には23もの大学・短期大学があり、約7万人の学生が集っています。

国内の政令指定都市のなかでも大学数は3位、市の人口のうち学生が占める割合も3位と、全国有数の大学都市、「大学都市 KOBE」です。一方で、若者の転出者数が多いという課題も抱えています。

そのため神戸市では、学生と地域（地元企業、各種団体等）との交流を通じ、学生自身の成長と市内定住の促進に取り組んでいます。

そこで、あなた自身の学生時代の経験等を踏まえ、どうすれば学生と地域との交流が促進できるか、あなたの考えを述べてください。

<障がい者対象（高専・短大、高校卒）>

神戸市に在住する外国人の数は2014年頃から増加傾向にあり、2023年7月現在で5万2,945人となっています。

神戸市では、国際都市としての魅力をさらに高めるため、外国人が住みやすく働きやすい環境を整備したり、日本語学習を希望するすべての在住外国人に対し、ニーズに応じた日本語学習環境を提供したりするなど、在住外国人との共生の推進に取り組んでいます。神戸市民と在住外国人の交流をさらに深めていくためにはどのようなことができるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

<育児休業代替任期付職員・会計年度任用職員（特定事務）>

近代日本経済の父と称される渋沢栄一は「反対者には反対者の論理がある。それを聞かぬうちに、いきなりけしからん奴だと怒ってもはじまらない。問題の本質的な解決には結びつかない」と述べています。

あなたがチームで仕事を行う際、問題の解決策について他のメンバーと意見が対立したときには、どのような行動をとるべきかについて、具体的に述べなさい。